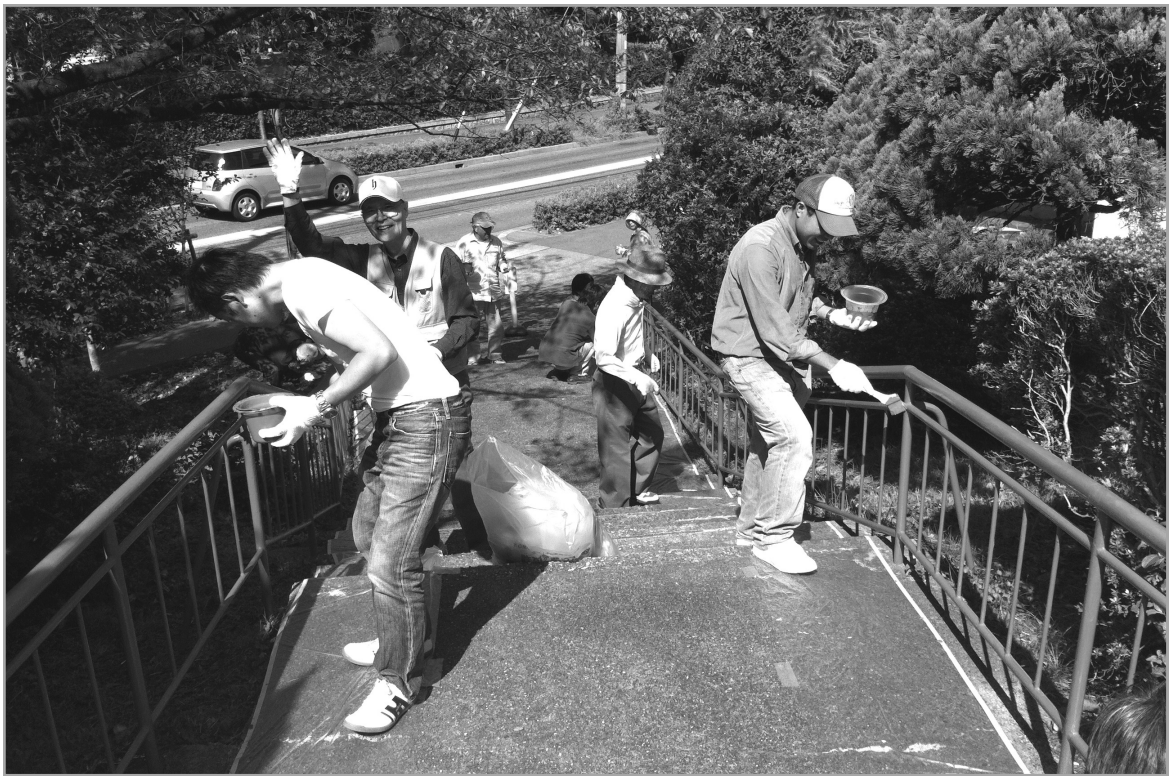
月報　NO.５７４　11月号

なんざん

2011年11月12日（土）発行

カトリック南山教会
名古屋市昭和区南山町１　TEL (831)9131
URL http:nanzankyokai.net　FAX (836)2253



2011.10.9　教会美化（ペンキ塗り）

天国に向かって

助任司祭アンジェイ

教会である私たちは、主キリストに結ばれて、天国に向かって、この地上の旅を歩み続けています。主キリストがもたらした救いの恵みによって、地上の教会である私たちは天国での永遠の幸せにあずかることができるようになりました。

カトリック教会の教えによって、完全に清められないままで死を迎えた人は、天国での永遠の喜びに入るために、ある浄化の苦しみを受けています。教会は、この最終的浄化を煉獄と呼んでいます。

天国・煉獄・地上という三つの状態にある教会は、聖霊によって一致しており、霊的な善を交換しています。天国の諸聖人は、この地上の旅を続けている私たちのために、また煉獄の兄弟姉妹のために、執り成しをしてくださいます。地上の教会である私たちも、死者のために祈り、ミサをささげています。それは、煉獄の兄弟姉妹が清められて、天国での永遠の幸せにあずかることができるためです。

今月の死者の月にあたって、地上の教会である私たちが、天国の諸聖人の取り次ぎに支えられて、煉獄の兄弟姉妹のために祈りながら、復活の信仰と希望と愛のうちに、天国に向かって、この地上の旅を歩み続けることができますように。

平日のミサ時刻：
月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日　午前10時30分　子供のミサ（マリア館）
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時　　初金曜日　午後7時
聖体礼拝：　土曜日　午後5時30分

主日のミサ時刻：
土曜日 午後2時30分
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(at the Maria Kan Hall)
ベトナム語のミサ 第４日曜日　午後3時30分

第７回運営委員会議事録

２０１１年11月６日

司祭団より

電話機交換

これまでは21台。リース料金４万８千円強だった。今回、これまで電話がなかったアントニー師の分を１台増やし、リース代は４千円下げてもらった。

東方典礼のミサについて

ルーマニア正教会のルーマニア人神父（東京在住）が南山教会の小聖堂で２０人程度のミサを献げたいと願っている。第２、第４日曜日の午後３時から。東方典礼。神言会や司教様とも相談するが、運営委員会の中で問題点を出し合った。献金がどうなるかの問題や神父様の生活費の問題、布教活動を制限できるかなどの問題が話し合われた。

受け入れるならば、契約書を作成して、典礼のための場所を提供するだけという条件をはっきりさせる。また、期限を設定する。望ましいのは、自立していただくこと。

報告事項

教会美化について

10月９日に実施。大勢の方にご協力いただき、見違えるほどきれいになった。

特に、今年は手摺りのペンキ塗りが素晴らしかった。酒井さんはじめ事前に作業をして下さった方々のおかげでできた作業である。

美化後に行ったバーベキューも良かった。南山教会は、交流の機会がまだまだ少ないので、今後、このような取り組みは増やしていくと良い。

きれいになった分、他のところの汚れが目立つようになった。信者会館の窓枠や聖堂玄関が特に気になる。

切り落とした枝が未処理のところがあるが、処理する機械が南山教会にあることが分かったため、今後試してみる。

マリア館ホールのワックス掛けなど共同作業できるものは、今後どんどん行っていきたい。

司祭叙階

10月15日14時30分から南山教会にて叙階式が行われ、２名の司祭が誕生した。ボーイ隊の副長としてお手伝いしてくださっていたブー・カイン・トゥオン（トントン）助祭も司祭に叙階された。

大震災被災地視察

社会福祉委員の成井師から報告があった。

10月12日～14日に社会福祉委員会、ＡＪＵ自立の家、カ障連の９名が参加。

12日釜石ＡＪＵベースを訪問。13日釜石教会、大船渡教会訪問。14日元寺小路教会、石巻教会、サポセン石巻ベース訪問、石巻被災地を視察。

石巻では被害が広域のためか埃やにおいもひどかった。

これまでは、がれきの整理などで皆が一つの方向に向いていたが、今は、少し落ち着いて、それぞれの事情により方向転換の時期となり、戸惑いがあるとのことだった。

これからの援助に必要なのは、傾聴支援や写真洗浄など何よりも人手があることが強調された。とにかく人が足りないようである。

９時半ミサ後の各会紹介の順番

担当表の修正版が配布された（原則第３日曜日）。次は、11月20日に子ども部屋の予定。

審議事項

教会バザーの報告・反省

１，０５１，７６１円の収入。純益は７６４，３４１円

収益配分先の案が提示された。

ＡＪＵは１万円アップ。

９９，３４１円をカリタスジャパンを通じて震災復興支援へ。

災害対策金は物品がまだ新しいため、今回は積み立てない。

外の放送がマリア館内部では聞こえなかった。

神父様のアトラクションが良かった。

保健所の指導では、ご飯物は屋外販売が認められていない。屋内で販売して、外で食べていただくのは許される。

来年度は内藤さんが実行委員長を務める予定。

クリスマスの典礼とパーティー

典礼は例年どおりだが、今年は、土曜日、日曜日なので、24日土曜日の14時30分のミサはない。12月24日は16時と20時にクリスマスイブのミサ。

24日のミサ当番、駐車場当番も例年どおりヨセフ会、ボーイスカウトで担当する。

パーティーも例年どおりの持ち寄り形式で行う。

年末年始のミサ・成人のお祝い

12月31日23時～ミサと聖体賛美式、新年の祝福。31日は14時30分のミサあり。

1月1日のミサは10時、18時。10時のミサでは新成人のお祝いをする。

12月31日の23時のミサ後、ささやかなパーティーを行う。

各会報告

営繕委員会

資料をもとにこれまでの取り組みと未処理分の説明がされた。手すりのペンキ塗りは業者に頼むと10倍近くの金額がかかっていたものと思われる。

マリア館厨房の冷蔵庫不調の原因はドアが完全にしまっていない状態が長く続いたため。今後、確認をきちんとする。

畳は４～５年で裏返す。

聖堂玄関に事務室とつながるインターホンを設置した。表記については検討中。試作品をつけて様子を見る。

身障者用駐車場マークは、もう少し大きくするか何か表示板を立てる工夫をしたい。

中高生保護者会

東日本大震災支援のために心を込めて制作したミニロザリオを11月3日に販売した。収益金の２６０８９円を教会の募金箱へ寄附した。大勢の方々のご支援に感謝。

財務委員会

12月運営委員会までに各会からの予算案提出を依頼。

中高生会

11月13日遠足

マリア会

10月例会の後、有志による震災支援のための手作り品のお店は、３８１００円の売り上げだった。

要約筆記の会

12月のＯＨＣは3日（土）に付ける。

英語ミサ

マリア館の祭壇にキャスターを付けた。不要ならすぐ外すことができる。キャスターがあれば、1人で祭壇を動かせる。

11月20日日英合同ミサ

11月27日から新しい英語訳のミサが始まる。

ボーイスカウト

10月29日（土）30日（日）ボーイ隊が南山の岩場にてロッククライミング実施。参加スカウト12名、リーダー8名。

11月5日(土)相生山探検ハイクカブ隊が山でのハイキングと宝探しを行った。参加スカウト6名、リーダー3名。

12月18日（日）クリスマス会

参加予定50名

1月15日（日）もちつき大会

参加予定40名

典礼委員会

10月9日12時30分～典礼委員会

10月の間、ロザリオの月のため、毎週の教会の祈りを休みにしてロザリオの祈りを捧げた。

10月23日9時半のミサは教会バザーのため日英合同とした。

11月6日9時半のミサで死者のための祈りを捧げた。

11月は死者の月。

11月6日14時～八事共同納骨堂で南山教会の先祖と死者のためにミサを献げる。

11月13日七五三の祝福あり。

11月20日「王であるキリスト」の祭日。アンジェラスのミサ。

11月27日典礼委員会

委員の更新

委員長・香部屋係及び侍者長

先唱奉仕者世話役・新内飛鳥

オルガニスト世話役・宮本佳幸

朗読奉仕者世話役・伴野尚子

典礼奉仕者の会代表・伊澤昌宏

聖歌隊長・笠原信明

・吉田徳子

教会学校

9月25日栄国寺へ巡礼

10月23日バザーで子供達が中心にアイス・綿菓子を販売した。

次回は12月4日

営繕委員会　2011年　10月分　不具合･改善　要望　処理済　一覧

2011/11/06

受付月日	場所	項目	内　容	原　　因	処　　置	費 用	処理月日
2011/05/01	大聖堂前階段	補修	手すりの錆と塗装の剥げが酷い	経年による劣化	錆落し･錆止め･上塗り実施･次回は2015年頃予定	¥41,672	2011/10/09
2011/10/12	マリア館厨房	故障	冷蔵庫が1台冷却せず	冷凍庫のドアが開放状態で大量の霜が付着した為	修理依頼をし、霜を取り除き良好	¥15,750	2011/10/14
2011/09/25	大聖堂	消耗	天井スポットライト3灯中2灯点灯せず	寿命	3灯共電球交換･電球10個購入(7個在庫)	¥27,850	2011/10/22
2011/09/07	マリア館和室	消耗	畳の劣化	経年の使用による	表替え実施(12畳)･2016年頃に裏返し実施予定	¥37,800	2011/10/22
2011/07/21	マリア館厨房	破損	オーブンの元栓蓋の破損	兆番のネジの欠落とヒンジの破損	部分補修で修理	¥0	2011/10/22
2011/10/27	マリア館倉庫	故障	台車のハンドル脱落	ハンドル固定用ナットの欠落	ナットの取り付け	¥215	2011/10/28
2011/10/27	マリア館倉庫	破損	バザー用ハンガーの車輪破損	車輪の欠落	車輪の取り付け	¥535	2011/10/28
2011/07/03	大聖堂入口	改善	来客や要介助者の為、事務所との連絡用インターフォンの設置		ワイヤレス方式のインターフォンを設置。	¥26,428	2011/11/04

心の傷の癒しとゆるし　（その５）

Ｂ・ノヴァク神父

３．ゆるすことの難しさ

おそらく誰でも、被害者が加害者をゆるさないために元の傷よりも大きな害を受けることや、自分に傷を負わせた人をゆるし、この人と和解することによって大きな善が生じることを認めるのではないかと思います。考えてみれば、ゆるしと和解は健全な人間関係を作るために、また神との関係を作るためにどうしても必要なのです。ゆるし合うことができなければ、家族生活や、修道生活、またはあらゆる社会やグループの生活は有り得ないでしょう。

ゆるしの必要性を理解することは大事ですが、自分を傷つけた相手を実際にゆるすために、それから苦しい過去から解放されるために十分ではないことがあります。もうすでに相手をゆるしたと思っても、苦しい体験を忘れることができても、過去の苦しい体験は、私たちの人生に悪い影響を及ぼし続け、心の中で求めている善を実践することを不可能にすることがあります。そんなことがあれば、精神的な傷はまだ癒されていないし、私たちは実際に加害者をまだゆるしていないということになるわけです。これから、ゆるしや和解を妨げることについて、またはゆるすことはなぜそんなに難しいかということについて考えてみたいと思います。

３・１　極端な態度

苦しい体験は、私たちの精神において実際の傷を負わせます。けれども、この傷が見えないがゆえに、それを目に見える体の傷と異なる扱いをします。私たちは、自分の体が傷ついたら、この傷の大きさに応じて相応しい手当をしなければならないということが分かっています。そうしなければ、傷は癒されない場合があるだけではなく、消毒されなかった傷は段々と悪くなって、元々比較的に小さかった傷さえ、大きな問題になる恐れがあるでしょう。傷は癒されるために時間がかかりますが、この癒しの過程を早めるために、色々な薬を用いることができます。傷は大きければ大きい程、複雑な手当、場合によって専門の医者の助けや手術まで必要になります。体の傷に関するこのような常識は、残念ながら、精神的な傷に対して常識になっていないのです。

殆どの人は、精神的な傷を負わされた後に、この傷を手当する代わりに、この傷を無視したり、軽んじたり、忘れようとしたりすることによってそれを放っておくか、この傷を負わせた体験をいつも思い起こしたり、これについて色々な人に話したりすることによって、この傷を常にいじるか、どちらかであります。どちらの場合も、心の傷が癒されません。逆に、段々と大きくなって、この人の人生に益々悪い影響を与える恐れがあるのです。どちらにしても、加害者をゆるすことやこの人と和解することは不可能です。なぜなら、完全なゆるしは、精神的な傷の癒しの結果であるからです。

３・２　被害者がゆるさないことから期待する偽りの利益

ゆるすことが難しくなっている一つの理由とは、被害者が加害者をゆるすよりも、ゆるさない方が、自分にとって有利なことであるという間違った確信をもつことなのです。多くの人は、加害者をゆるさず、受けた傷が癒されないように、それを常にいじって痛いまま保った方が、自分が目覚めていることができるし、苦しい記憶をもち続け、そのときの感情を抱き続けたが方が、より大きな力を出すことができるので、その意味で新たな攻撃に立ち向かうためによりよい準備ができている状態に生きることによって、新たな傷を負わせられないように、自分を守ることができると思っているようです。確かに、このような興奮状態は、急に起こった危険性に早く反応するために必要です。けれども、そのとき、体の中でアドレナリンが血中に放出されて、血圧を上げ、心臓が普段より早く働き、血液が普段より早く回りますので、この異常の状態が長く続くと体にも精神にも大きな害を与えるのです。ですから、苦しい体験の記憶を保つことや精神的な傷をいじることは、自分を防衛するのではなく、ある意味で、自分を拷問すること、自分を苦しめることだけであると言えると思いますが、被害者は、この事実に気づかずに、この苦しい状態を保つことが自分の防衛になっていると考えているかぎり、加害者をゆるすことができないでしょう。

苦しい体験をした人々の中に、自分の苦しみを賠償することや、傷つけられたことによって損失したものを返すことができるのは、加害者だけであると思う人もいます。このように考えている人々にとって、加害者をゆるすことは、

この人が賠償するように、損失したものを返すように要求することを諦めること、結果的に、損失したものがいつか返されるという希望を捨てることを意味するのです。ですから、このように考えている人にとってゆるすことは非常に難しいものになっているわけです。けれども、実際に、加害者が、例えば何か物質的なものを盗んだ場合、それを返すことができても、はるかに大きな問題となっている損失、つまり安心感や自尊心のような精神的な損失を返すことができないことが殆どです。加害者以外の人々の中に、精神的な損失を補うことのできる人々が大勢いるはずですが、加害者にこだわりすぎて、ゆるさないことによって加害者との不健全な絆を保ち続ける被害者は、他の人の助けを受け入れることができない恐れがあるのです。

被害者は、加害者をゆるさないことによって、この人をコントロールしているような気持になることがあります。特に、自分が加害者に対して全く無力であり、復讐することも、賠償を要求することもできない子どもがそのような態度をとることが多いようです。被害者は、加害者が自分よりも強くても、ゆるされないことに関して無力であると考えています。被害者にとってこの考えは、自分の苦しみを和らげる満足感やこの苦しみに耐えるために必要な力をもたらす自由の空間となっています。実は、ゆるさないことは、殆どの場合、加害者に何の影響も与えませんが、被害者に必ず害を与え、この人の苦しみを伸ばすのです。けれども、苦しみが増えても、以上のような気持を味わうために、被害者は自分の態度を変えたくないかぎり、ゆるすことも不可能です。

前にも話したように、自分の失敗や間違いを苦しい体験や加害者のせいにする人もいます。この人たちにとって、加害者をゆるすことは、自分の人生の責任を取り戻すことを意味します。より気楽に生きる可能性を与える言い訳を捨てて、この責任をとることは、精神的な傷の癒しのために支払わなければならない代価のようなものなのです。けれども、多くの人は、癒しがもたらす自由に伴うこの責任を恐れていますので、この代価を支払うことを拒否し、結果的にゆるさないことを選ぶわけです。

3・3　ゆるしの可能性

子どもの時に私たちは、非常に無力で、多くの場合、出逢った問題を解決することができませんでした。負わされた不正や他の苦しみに対して、唯一できたのは、我慢することとか、叫ぶことや静かに泣くこと、また誰かの慰めを得ることや、夢や幻想の世界に逃避することだけでした。おそらく、私たちを傷付けた人を無理にゆるすようにさせられたことがあっても、誰かに私たちの心の傷の手当をしてもらったことや、ゆるすことを丁寧に教えてもらったことがなかったのではないでしょうか。このような体験によって、本当のゆるしが不可能であり、自分の苦しみを和らげるためにできるのは、怒りや憎しみなどのような嫌な感情を抑圧することや、それを発散すること、または、自分の苦しみを代償することとか、慰めや励ましを追求することだけであるというような確信をもつようになりました。おそらく、そのような確信、逆に言えばゆるす可能性を信じていないということは、以上に描いた態度をとる理由になっているでしょう。けれども私たちは、もはや子どもではありません。大人として、子どもよりも沢山の可能性がありますし、子どもよりも力強いのです。子どもの時に不可能なことは、今は可能です。ですから、大人として、子どものときに頼りにしていた手段にだけ留まるのではなく、問題の新しい解決の方法、精神的な傷の新しい扱い方を探さなければならないのです。

大人として、私たちは、昔よりも沢山の心の傷を癒やすことができますが、今でも、癒すために他の人の助けを要求としている傷もあるということを意識する必要があります。それから、精神的な傷があまり大きくて、それを癒すことは、人間の力だけでは不可能な場合もあるということを忘れてはいけません。精神的な傷の問題の唯一な解決である加害者をゆるすことは、負わされた傷によって程度が違っても、いつも敵に対する愛の実践なのです。このような愛は、例外なくすべての人々、つまり正しい人も、正しくない人も、被害者も、加害者も愛しておられる神の賜物なのです。あらゆる傷を癒すことのできるこの賜物を受け入れるために、神との交わりを深める必要があります。最終的に、私たちは、キリストによって神と和解し、神との正しい関係に生きるようになってから、イエスと同じようにあらゆるとがをゆるすことができるようになります（2コリ5・17－19）。けれども、加害者をゆるすとは、どういうことであるかを正しく理解する必要がありますので、次回は、ゆるしに関する間違った考え方と、ゆるすことの真の意味について考えてみたいと思います。

（つづく）

２０１１年度教会バザー報告

西尾義人

今年も10月23日教会バザーが開催されました。開催の朝、直前のどしゃ降りの雨にはただ呆然とするばかりでしたが、一時的な通り雨で、太陽がすぐ顔を出し、汗ばむ陽気となりました。時間とともに各コーナーも賑わってきて、呼び込みの声や歓声が湧きあがっていました。今年は食べ物類を充実させようといろいろメニューの検討をしました。しかし、開催の前々日の夕方に突然保健所からの指導を受けました。それでも何とか説得し、無事に商品の販売も出来ました。また、今回特設ステージでのアトラクションは出演依頼が遅かった為、急きょお願いした神父様たちのコーラスと教会学校の活躍で会場を盛り上げて頂きました。もっと早く出演のオファーをしなければと反省しています。私の力不足のバザーでしたが、マリア会、ヨセフ会、中高生父母会、ボーイスカウト、教会学校、中高生会、青年会その他の方々の御協力で無事行えて本当に感謝しています。三月の大震災の時は今年のバザーの開催を危倶しましたが、終わってみて人との絆、教会の皆様の結束力を身にしみて感じました。大切なバザーの収益金は慎重に検討し有意義に配分させて頂きます。皆様有難う御座いました。

カトリック南山教会バザー収支計算書(2011年10月23日)

単位:円

収　　入	金　　額	支　　出	金　　額
フリーマーケット	172,298	材料費	272,912
新品コーナー	157,646	設営費	10,047
栗ご飯	100,500	雑費	4,461
唐揚げ	79,400		
焼きそば	69,300		
カレーライス	67,092		
みたらし	52,860		
おでん	50,100		
コーヒー・ケーキ	44,100		
洋菓子	41,900		
抹茶・和菓子・煎茶・団子	29,900		
ビール・ジュース	22,650		
フランクフルト	22,450		
アイス・綿菓子	16,800		
おにぎり	11,200		
ヨセフ会	5,200		
芋煮(豚汁)	3,940		
寄付金	100,920		
雑収入	3,505	純利益	764,341
合　　計	1,051,761	合　　計	1,051,761

注　1. 食券販売分は、各売場ごとの売上金額に加算してあります。
　　2. 外部協賛者の寄付は、寄付金に加算してあります。
　　3. 現金販売していない、配布した招待券は売上に含まれておりません。

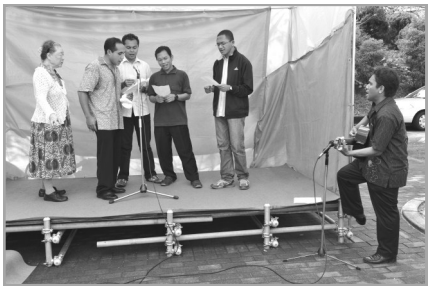
以上の通りご報告致します。ご協力頂きました方々に、深く感謝申し上げます。

2011年11月5日

会計責任者　伊 藤 恭 輔

2011年度カトリック南山教会バザー収益金寄付先

寄付先団体名	金額
名古屋ダルク	100,000
いのちの電話	40,000
福信館	50,000
社会福祉委員会	20,000
車イスセンター	20,000
AJU自立の家	60,000
障害者のつどい	30,000
名古屋マック	30,000
ヴェトナム・ストリート・チルドレン	20,000
ロゴス点字図書館（ぶどうの木）	10,000
ゲマインダーハウス	40,000
カトリック障害者連絡会を支える会	20,000
名古屋教区障害者連絡会	50,000
RASAの会	60,000
聖霊ホスピス	100,000
海外衣料送付費	15,000
東日本大震災支援（カリタスジャパン）	99,341
災害対策金	0
計	764,341



カトリック教会のカテキズムより

1340　イエスは、過越の食事の間に使徒たちと最後の晩さんを行いながら、ユダヤ人の過越祭に決定的な意味を与えられました。死と復活を通してのイエスの御父への移行、すなわち新しい過越は、最後の晩さんで先取りされ、感謝の祭儀で祝われます。この祭儀はユダヤ人の過越祭を完成し、み国の栄光における教会の決定的な過越を先取りするものです。

「これを、わたしの記念として行いなさい」

1341　ご自分が「来られるときまで」（一コリント11,26)ご自分の動作とことばを繰り返すようにとのイエスの命令は、イエスとイエスがなされたこととを思い出すようにと求めているだけではありません。その目指すところは、使徒やその後継者たちがキリストとその生涯、死、復活、御父のもとでの執り成しを記念する典礼を挙行することなのです。

1342　教会は当初から、キリストの命令に忠実に従いました。エルサレムの教会に関する次のような記述があります。

「彼らは、使徒の教え、相互の〔愛の〕交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった。……毎日ひたすら心を一つにして神殿に参り、家ごとに集まってパンを裂き、喜びと真心をもって一緒に食事をしていた」（使徒言行録2,42,46)。

1343　キリスト者が「パンを裂くために」集まったのは、とくに「週の初めの日」、すなわち日曜日、イエスの復活の日でした（使徒言行録20,7)。そのころから今日に至るまで、エウカリスチア（感謝の祭儀）は継続されてきていますので、今日でも、基本的にはどの教会でも同じ構造となっています。この祭儀は、教会生活の中心を成しています。

南山句会

平成二十三年十月五日

夜も更けて筆とる窓辺虫の声　とく子

播きもせず天の恵みを稲雀　洋子

絵手紙に求めしぶだう手に重し　瑞子

秋近し風の動きの見えるなり　紀子

己が背を十字架となし鷹渡る　義子

車椅子の苦を持ちつつも紅葉狩り　光子

十三夜池に残して寝まりけり　のぼる

とりあへず小籠に活けて秋の草　牧子

みちのくへ祈り届けむロザリオ祭り　せつこ

毎月第一水曜日午後一時半
マリア館一階集会室

信　者　の　消　息

結　婚　♡　お幸せに　♡

１０月　１日
川端優作　♡　ﾏﾘｰﾃﾚｰｽﾞﾄﾞｽﾋﾞﾗﾝ中村友子

１０月　１日
小柳一馬　♡　ﾊﾟﾄﾘｼｱ 深江菜穂子

１０月１５日
伊藤秀樹　♡　ﾏﾘｱ 小本紗弥加

転　入　ようこそ

PAULO CASAR SILVERIO BRAZ

転　出　いつまでもお元気で

DO DUY LINH　（貝塚）

帰　天　ご冥福をお祈りいたします

ﾍﾞﾙﾅﾃﾞｯﾀ 田中欣子　（72歳）

2011年11月・12月度行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
11月	死者の月 1(火)諸聖人の祭日 2(水)死者の日 9(水)ラテラン教会の献堂 20(日)王であるキリスト 27(日)待降節第一主日	1(火)行事予定及び予算審議開始 6(日)14:00墓参 13(日)子供のミサ(七五三) 20(日)9:30天使ミサ･入門式・日英合同ミサ 30(金)アンジェイ師霊名の祝日	6(日)運営委員会 11(金)マリア会遠足 13(日)教会学校七五三 13(日)ヨセフ会班長会 19(土)10:30子ども部屋 26(土)要約筆記付きミサ 27(日)典礼委員会	6(日)教区東八事合同慰霊祭 17(木)司祭協議会 27(日)教区デー
12月	8(木)無原罪の聖マリア 25(日)主の降誕 30(金)聖家族	6(火)ニコ師霊名の祝日 18(日)共同回心式 24(土)主の降誕の前夜ミサ日英合同ミサ(20:00) 21:30クリスマスパーティ 25(日)主の降誕ミサ 31(土)23:00旧年感謝ミサ新年の祝福	2(金)マリア会例会(懇談会) 3(土)要約筆記付きミサ 4(日)運営委員会 11(日)ヨセフ会班長会 18(日)典礼委員会 18(日)教会学校クリスマス会 18(日)ボーイスカウトクリスマス会 (土)子ども部屋クリスマス会	1(木)司祭協議会 4(日)宣教地司祭育成の日(献金)